

令和6年度地域脱炭素ネットワークフォーラム

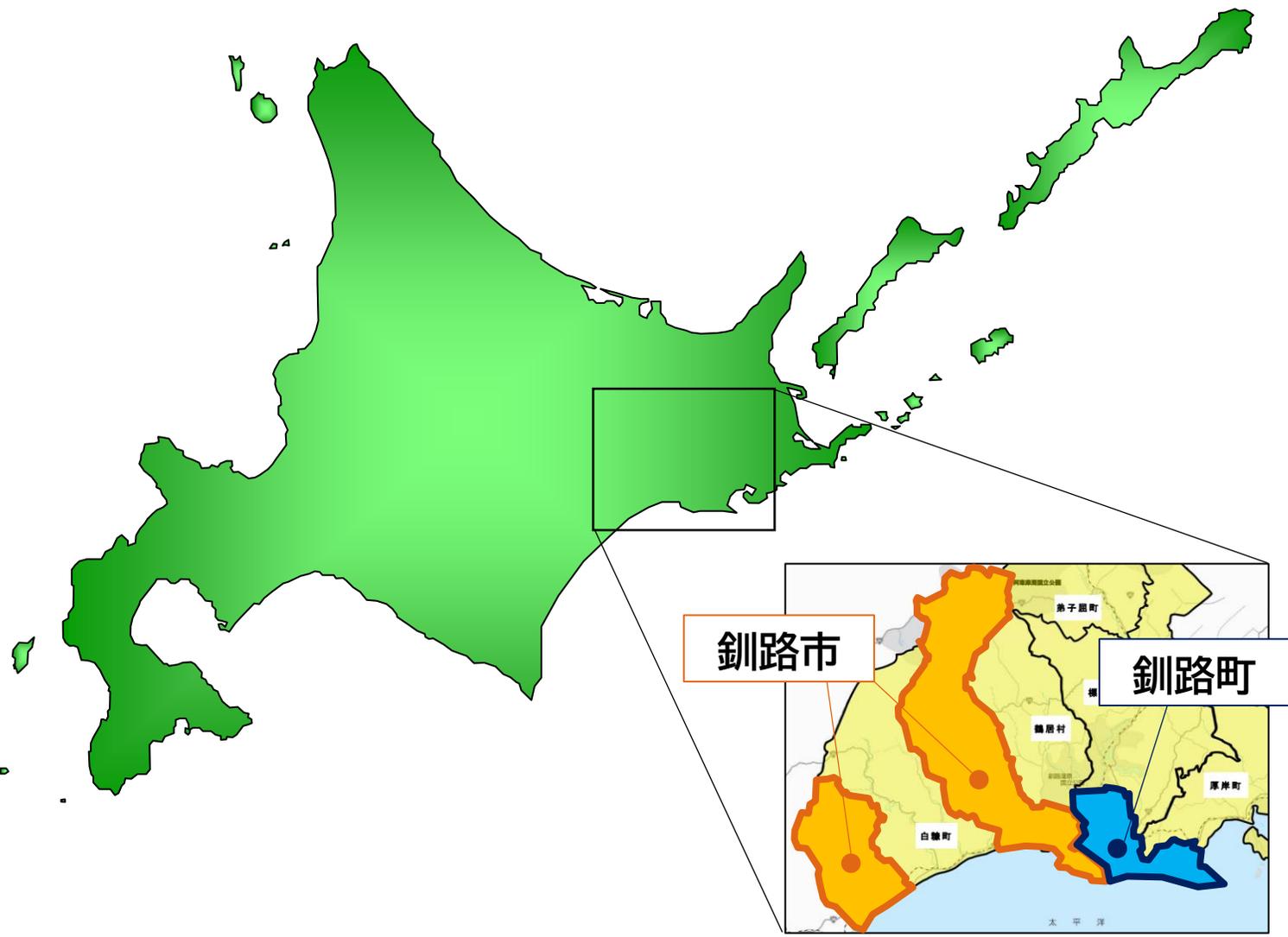
官民共創による ソーラーカーポートの導入について

2024.8.20(水)
釧路町環境生活課環境政策係

自己紹介

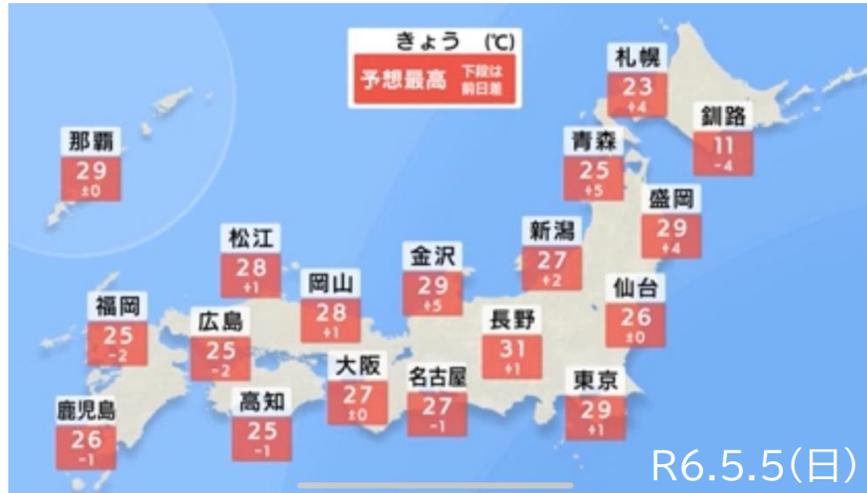
氏名	伊東 佳基(いとう よしき) 35歳	
所属	釧路町役場 環境生活課 環境政策係(ゼロカーボン政策)	
職歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全担当 3年 (国立公園、空き地管理) ・ まちづくり政策担当 3年 (総合企画調整) ・ 税務担当 5年 (住民税賦課、固定資産税賦課) ・ ふるさと納税担当 1年 (ふるさと納税) ・ 社会教育担当 2年 (スポーツ少年団、長ぐつアイスホッケー) ・ 北海道派遣 2年 (北海道地球温暖化防止対策条例改正担当 1年) (ゼロカーボン市町村支援担当 1年) ・ 環境政策担当 1年 (ゼロカーボン政策) ←今ここ 	
趣味	フットサル、ランニング、旅行	

釧路町の概況



釧路町の概況	
人口	18,466人 (R6.3.31)
世帯数	9,624 世帯 (R6.3.31)
面積	254.15平方キロメートル
最高気温	31.5℃ (H22.6.26)
最低気温	-17.8℃ (H10.1.8)

※釧路地方気象台データ



スマートソーラー(株) 会社紹介



本社・スマートソーラー技術研究所
(千葉県木更津市)

スマートソーラー東京本社
東京都中央区日本橋兜町13番1号

スマートソーラー技術研究所
千葉県木更津市かずさ鎌足三丁目9番地1

- ・1.4MWメガソーラー発電所
- ・R&Dセンター棟
- ・本社棟
- ・各種太陽光発電システム運転・展示



○羽田APから30分
○品川STから45分

所在
設立
資本金
社員数

<本社・技術研究所・物流センター> 千葉県木更津市かずさ鎌足三丁目9番地1
 <東京本社> 東京都中央区日本橋兜町13番地1号 兜町偕成ビル
 <国内事業拠点> 京都市、熊本県山鹿市、北海道新ひだか町・釧路町・紋別市
 <海外事業拠点> ネパール、中国上海、カンボジア

2007年4月25日

9,062万円

200名(国内165名、海外35名)
※ 2022年10月現在



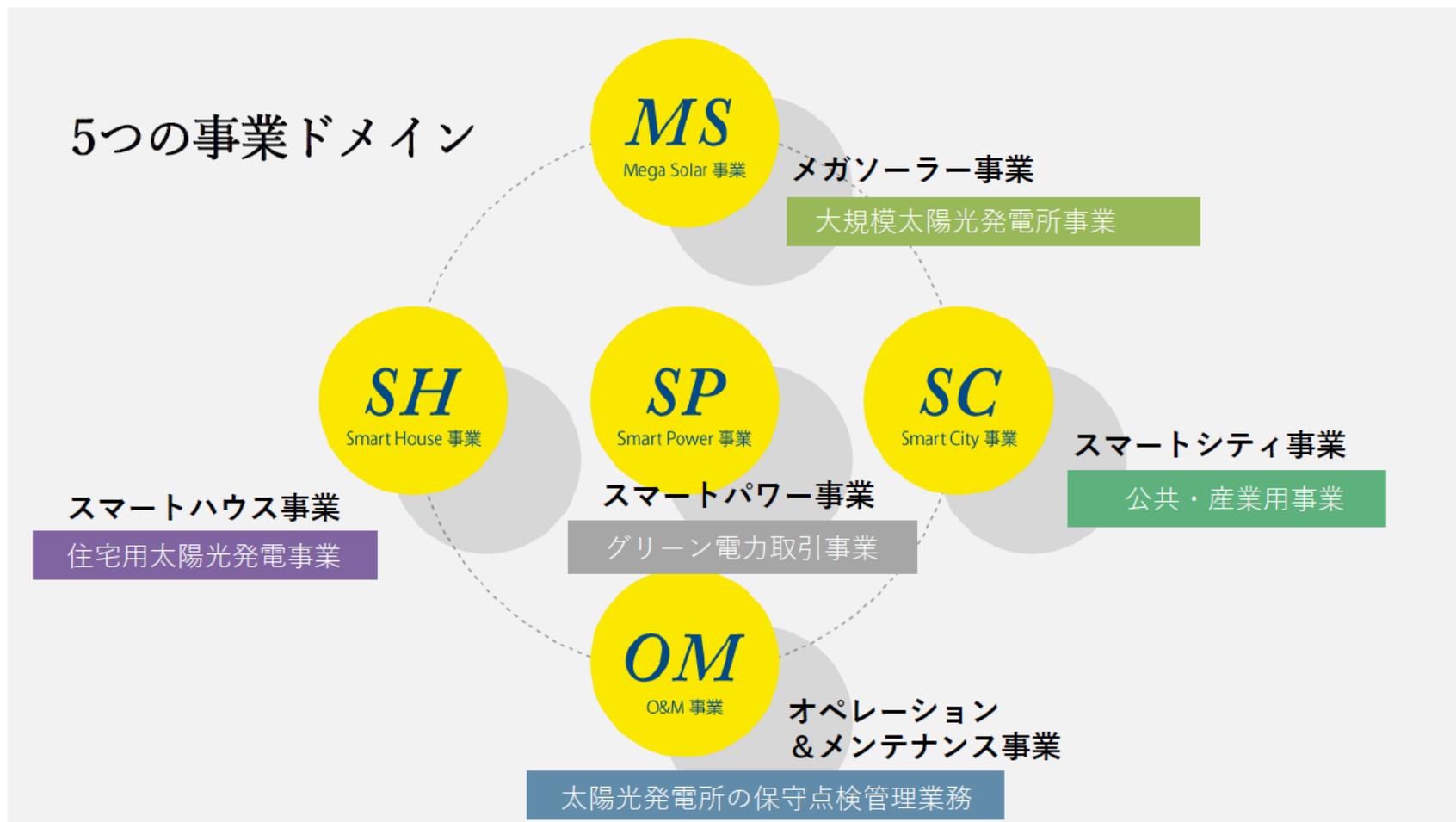
ISO 9001:2015 認証取得
ISO 14001:2015 認証取得



ISO 27001:2013 認証取得

スマートソーラー(株) 会社紹介

Business Mission : 人々に [蓄電池付] 太陽光発電による安定した電力を
化石電力より安く提供し、安全・安心で持続可能な社会を実現する!



釧路町×スマートソーラー株式会社による脱炭素の取組経過

2019
(R1)

✓「釧路町の防災と減災と自然環境の賢明なる利用を同時実現できる事業」に関する
事業実施協定をスマートソーラー株式会社と締結

ゼロカーボンシティ宣言

2021
(R3)

✓PPAにより釧路町役場屋上へ太陽光パネル（出力81kW）及び蓄電池（容量159 kWh）を設置

事務事業編改定

2022
(R4)

✓PPAにより釧路町役場駐車場にソーラーカーポート（出力177kW）を設置
✓公用車としてEV（容量60 kWh）を1台導入、急速充電器（出力50kW）を設置

ゾーニングマップ作成、区域施策編策定

2023
(R5)

✓PPAにより総合体育館、温水プール、富原小学校、富原中学校、給食センターのマイクログリッドを構築
(R5~R6の2か年事業)
→R5は釧路町運動公園駐車場に太陽光パネル設置工事までを完了（未稼働）

2024
(R6)

→R6は富原小・中、給食センターへの自営線敷設工事を実施。R7年度からの稼働に向けて調整中。

釧路町×スマートソーラー株式会社による脱炭素の取組経過

2019
(R1)

✓「釧路町の防災と減災と自然環境の賢明なる利用を同時実現できる事業」に関する
事業実施協定をスマートソーラー株式会社と締結

2021
(R3)

ゼロカーボンシティ宣言

✓PPAにより釧路町役場屋上へ太陽光パネル（出力81kW）及び蓄電池（容量159 kWh）を設置

2022
(R4)

事務事業編改定

✓PPAにより釧路町役場駐車場にソーラーカーポート（出力177kW）を設置
✓公用車としてEV（容量60 kWh）を1台導入、急速充電器（出力50kW）を設置

2023
(R5)

ゾーニングマップ作成、区域施策編策定

✓PPAにより総合体育館、温水プール、富原小学校、富原中学校、給食センターのマイクログリッドを構築
(R5~R6の2か年事業)
→R5は釧路町運動公園駐車場に太陽光パネル設置工事までを完了（未稼働）

2024
(R6)

→R6は富原小・中、給食センターへの自営線敷設工事を実施。R7年度からの稼働に向けて調整中。

連携協定締結の経緯

2018年2月9日 政府の地震調査研究推進本部が北海道根室沖の巨大地震が今後30年以内にかかる確率を「80%程度」に引き上げ。

2018年9月6日 北海道胆振東部地震により北海道全域がブラックアウト。



防災への意識が急激に高まり、自然災害から町民生活を守るための対策が喫緊の課題



2020年3月18日 釧路町の防災と減災と自然環境の賢明なる利用を同時実現できる事業に関する事業実施協定を締結（公募型プロポーザル）

連携協定締結の目的

事業実施協定書 第2条（本協定の目的）

本協定は、近年多発する様々な自然災害や、大規模停電の発生等から、町民の生活を守るため、町の防災計画に掲げる避難場所等の計画施設へ、大規模電池付太陽光発電設備の導入を行い、災害時の電力ライフラインを確保するとともに、自然災害の原因ともなっている温室効果ガスの排出量の削減を同時実現することを目的として、町と事業者が締結するものである。



町民の生活を守ることが最大の目的
(温室効果ガスの削減は副次的)

釧路町×スマートソーラー株式会社による脱炭素の取組経過

2019
(R1)

- ✓「釧路町の防災と減災と自然環境の賢明なる利用を同時実現できる事業」に関する事業実施協定をスマートソーラー株式会社と締結

2021
(R3)

ゼロカーボンシティ宣言

- ✓PPAにより釧路町役場屋上へ太陽光パネル（出力81kW）及び蓄電池（容量159 kWh）を設置

2022
(R4)

事務事業編改定

- ✓PPAにより釧路町役場駐車場にソーラーカーポート（出力177kW）を設置
✓公用車としてEV（容量60 kWh）を1台導入、急速充電器（出力50kW）を設置

2023
(R5)

ゾーニングマップ作成、区域施策編策定

- ✓PPAにより総合体育館、温水プール、富原小学校、富原中学校、給食センターのマイクログリッドを構築（R5～R6の2か年事業）
→R5は釧路町運動公園駐車場に太陽光パネル設置工事までを完了（未稼働）

2024
(R6)

- R6は富原小・中、給食センターへの自営線敷設工事を実施。R7年度からの稼働に向けて調整中。

役場本庁舎PPA事業

■事業概要

- ・役場本庁舎における再エネ供給(屋上)
- ・蓄電池の導入

■事業費

約35,000千円 (うち国補助金 15,000千円)
 ※ 地域の自立分散型エネルギーシステムの構築支援事業を活用

■導入設備容量

太陽光発電システム	81kW
蓄電池	159kW

■事業概要

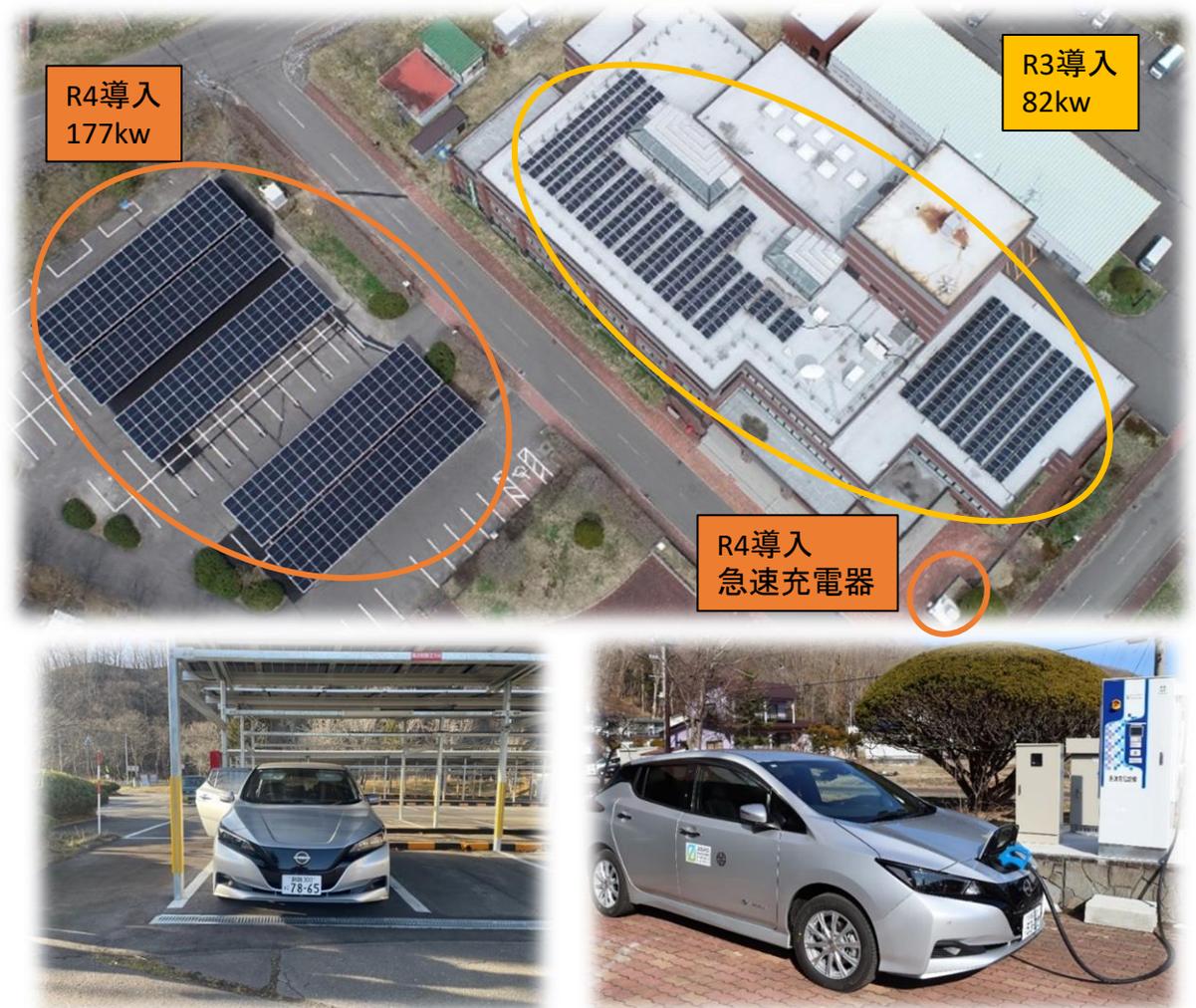
- ・役場本庁舎における再エネ供給(ソーラーカーポート)
- ・電気自動車の導入(外部給電器含む)
- ・急速充電器の導入

■事業費

75,414千円 (うち道補助金 34,281千円)
 ※ ゼロカーボン・モビリティ導入支援事業を活用

■導入設備容量

太陽光発電システム	177kW
電気自動車(日産リーフ)	60kW
急速充電器	50kW



合計発電量 120,050 kWh/年 CO2削減量 約 64 t-CO2

釧路町×スマートソーラー株式会社による脱炭素の取組経過

2019
(R1)

✓「釧路町の防災と減災と自然環境の賢明なる利用を同時実現できる事業」に関する
事業実施協定をスマートソーラー株式会社と締結

ゼロカーボンシティ宣言

2021
(R3)

✓PPAにより釧路町役場屋上へ太陽光パネル（出力81kW）及び蓄電池（容量159 kWh）を設置

事務事業編改定

2022
(R4)

✓PPAにより釧路町役場駐車場にソーラーカーポート（出力177kW）を設置
✓公用車としてEV（容量60 kWh）を1台導入、急速充電器（出力50kW）を設置

ゾーニングマップ作成、区域施策編策定

2023
(R5)

✓PPAにより総合体育館、温水プール、富原小学校、富原中学校、給食センターのマイクログリッドを構築
(R5~R6の2か年事業)

→R5は釧路町運動公園駐車場に太陽光パネル設置工事までを完了（未稼働）

2024
(R6)

→R6は富原小・中、給食センターへの自営線敷設工事を実施。R7年度からの稼働に向けて調整中。

釧路町運動公園エリア再エネ面的供給事業

■事業概要

- ・運動公園エリアにおける再エネ供給
- ・災害時のマイクログリッド構築

【電力融通先の想定】

- ・総合体育館/温水プール
- ・富原小学校/富原中学校
- ・学校給食センター

■事業者

SC釧路町合同会社（PPA事業者）

■予定工期

令和5年12月～令和7年3月

■事業費

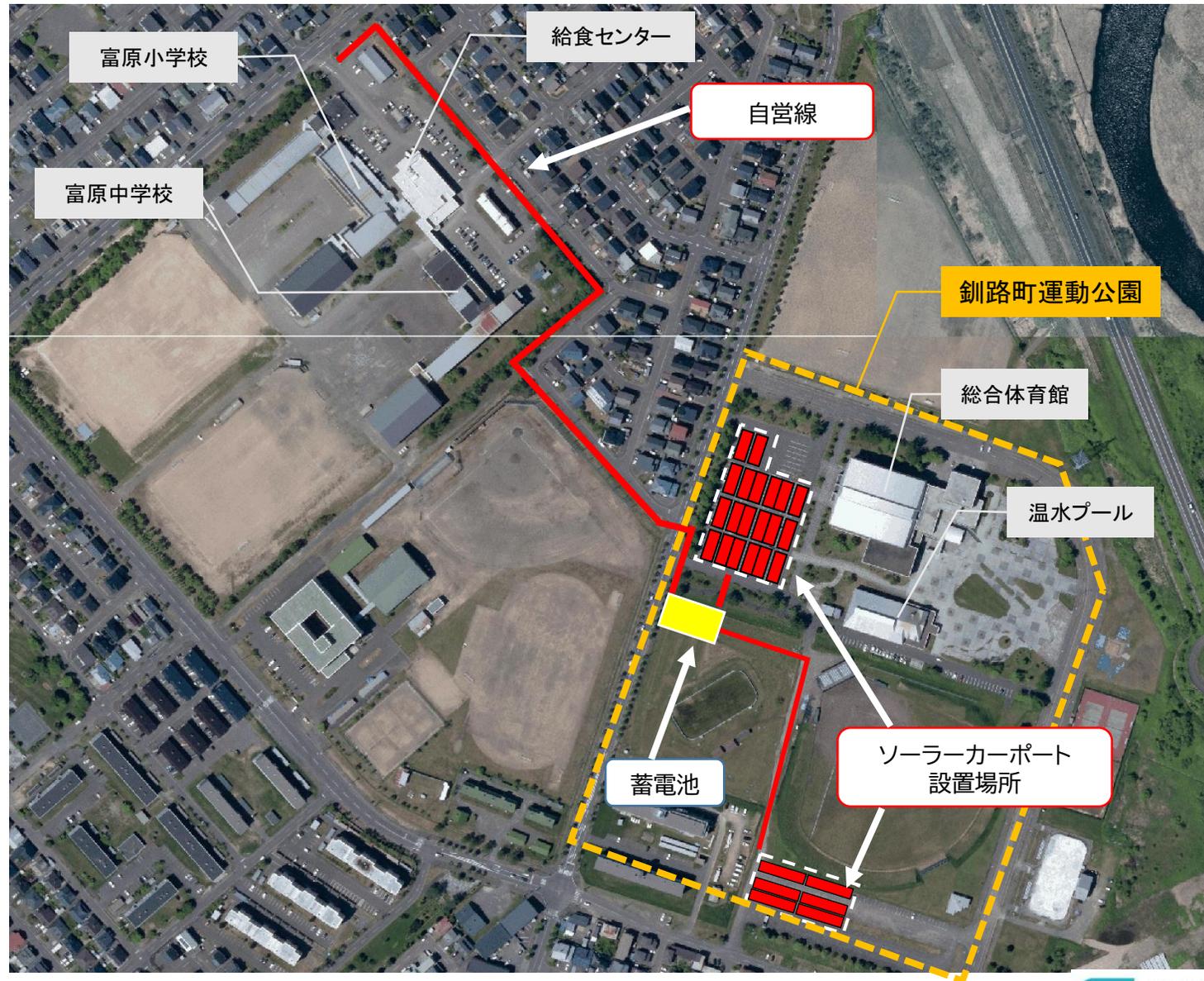
約300,000千円(うち道補助金 約150,000千円)
※ ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業を活用

■導入設備容量

太陽光発電システム 642.6 kW
蓄電池システム 1,000 kWh

■CO2排出削減量(想定値)

再エネ自給量 597MWh/年
(CO2排出削減量 約320 t-CO2)

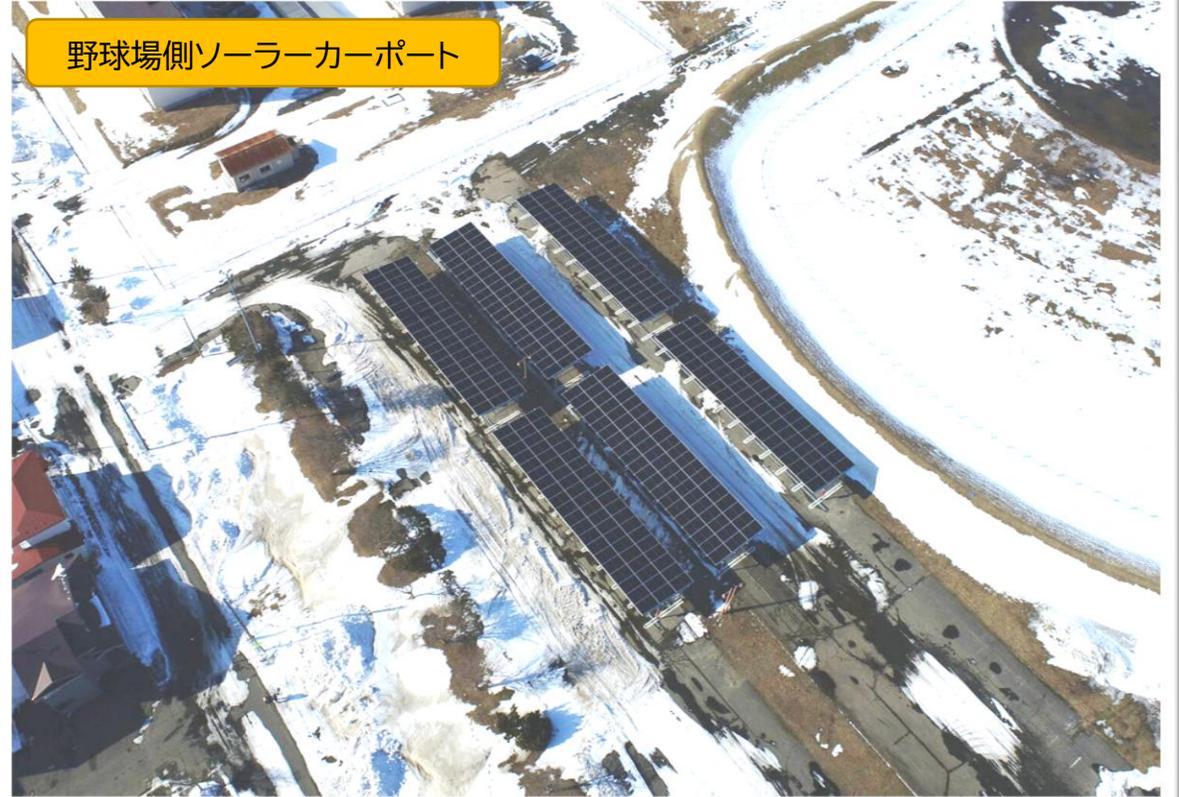


釧路町運動公園エリア再エネ面的供給事業

総合体育館側ソーラーカーポート



野球場側ソーラーカーポート



実施体制

R4 ゼロカーボン・モビリティ導入支援事業
 R5~R6 ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業

北海道

補助申請

釧路町スマートシティコンソーシアム

SC 釧路町合同会社
 (コンソーシアム代表)

- ・ソーラーカーポート設置
- ・電力供給
- ・発電設備の所有と維持管理

スマートソーラー株式会社

- ・ソーラーカーポート設計
- ・施工、保守

釧路町

- ・発電された電力の購入と使用
- ・発電事業用地の貸付

■ 具体的な対応

【釧路町】

- ・発電事業用地の図面提供
- ・関係課及び関係機関協議、議会对応
- ・土地の賃貸借契約、電気購入契約等

【スマートソーラー株式会社】

- ・ソーラーカーポートの設計及び釧路町との協議
- ・開発行為の許可申請、建築確認申請等
- ・ソーラーカーポート施工